

第122号 通巻22巻 第1号  
 2002年5月1日 発行  
 守山市立埋蔵文化財センター  
 Tel・Fax 077-585-4397  
 〒 524-0212  
 守山市服部町2250番地

**はじめに**

今年は暖冬の影響で梅や桜が例年になく早く咲いてしまっ、あっという間に見頃が過ぎ去ってしまいました。ゆっくり春を味わう間がなかったので、ちょっと損をしたように感じられます。しかも、紫陽花<sup>あじさい</sup>のつぼみが見られた、というたよりを耳にするようになりました。

今年は新たに1人の調査メンバーを迎えての体制です。これから心地よい季節、さわやかな風をうけ、本格的に始まる発掘調査にがんばっていきたいと思います。

**新人紹介**

**森山調査員**

当センターの嘱託調査員として勤務することになりました森山と申します。昨年まで近江八幡市で発掘調査に携わっていましたが、以前から守山市の発掘調査を見ていて、ずっと魅力を感じていました。今、こうしてスタッフの一員としてこの場にいることができ、信じられない気持ちでいっぱいです。

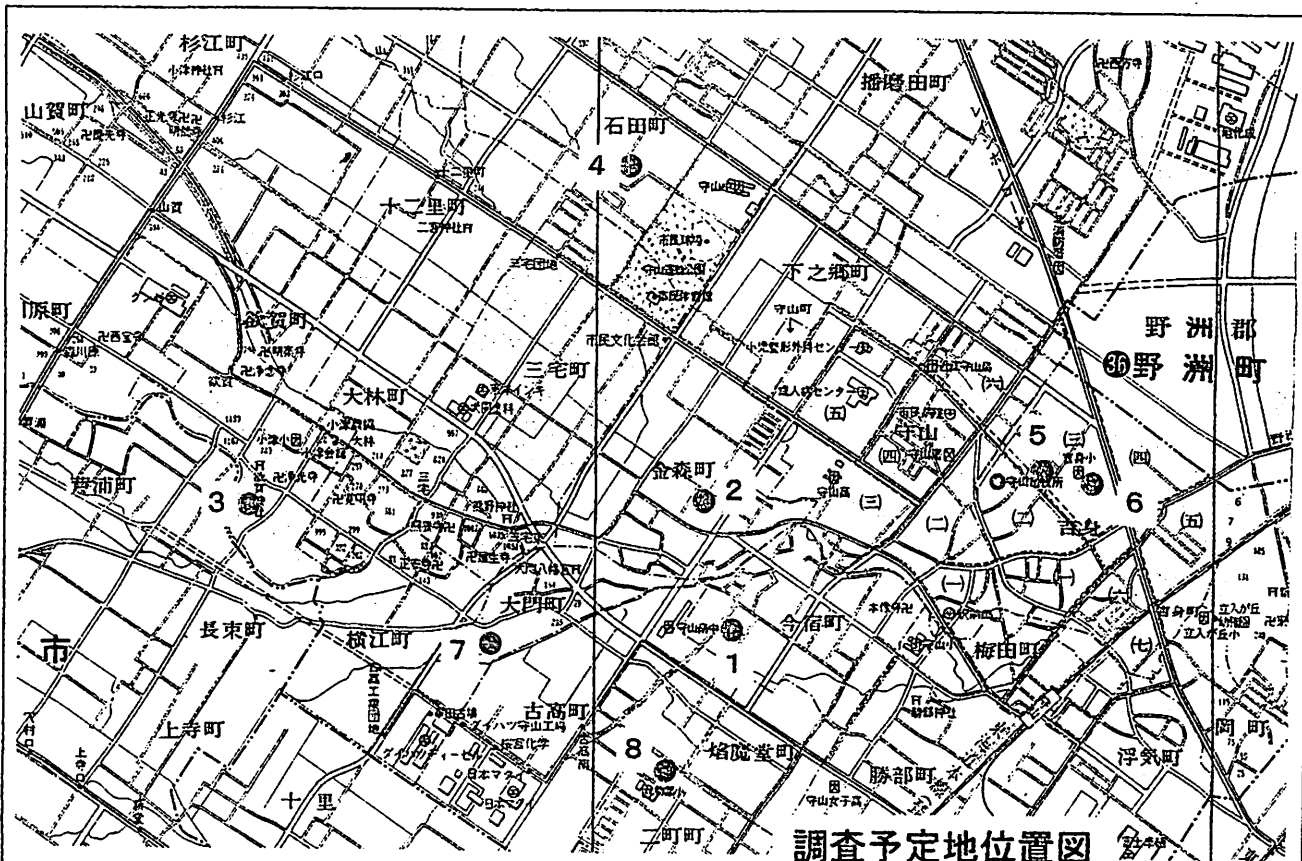
私が担当します現場は、古高・経田遺跡になりました。名は体を表すごとく”森山”のような大きな体格をしています。すぐにみなさんの目に留まると思いますので、近くにお越しの際は気軽に声をかけてみてください。よろしくお願い致します。

**今年の主な調査予定**

今年の調査は、これまでの2箇所の区画整理事業に加え、新たに欲賀町での区画整理と、開発に先立つ調査を数件予定しています。さらに、伊勢遺跡、下之郷遺跡の両重要遺跡では、引き続き確認調査を進めていきます。

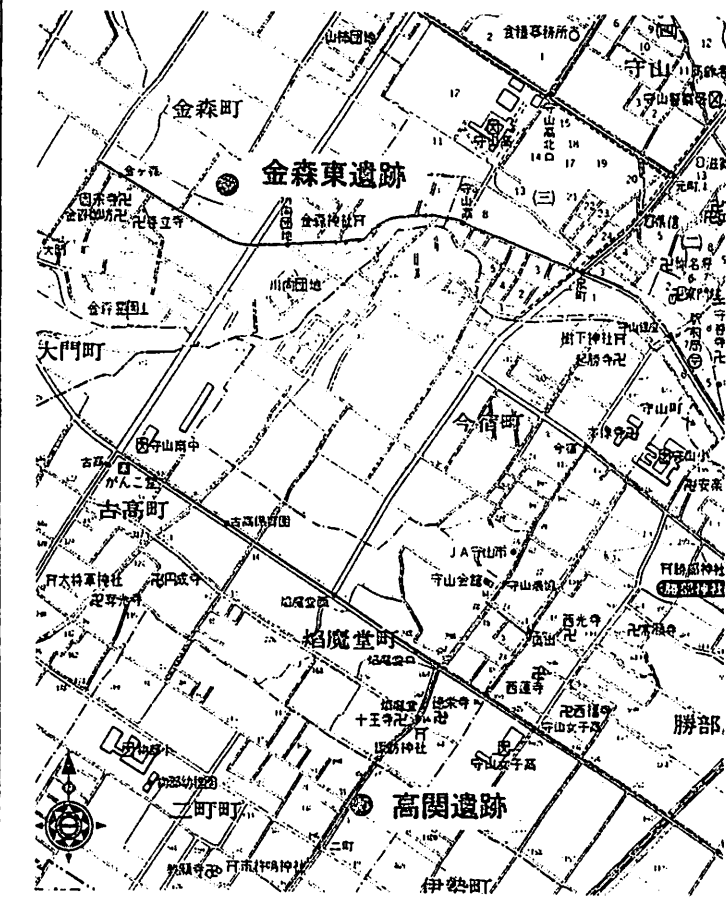
	遺跡名	所在地	原因				
1	古高・経田遺跡	今宿町	区画整理	5	堂ノ北原遺跡	吉身三丁目	宅地造成
2	金森東遺跡	金森町	区画整理	6	堂ノ北原遺跡	吉身三丁目	宅地造成
3	欲賀遺跡	欲賀町	区画整理	7	下長遺跡	古高町	宅地造成
4	石田三宅遺跡	石田町	配水池	8	二町鏡遺跡	二町町	宅地造成

次ページに調査場所を掲載。



調査予定地位置図

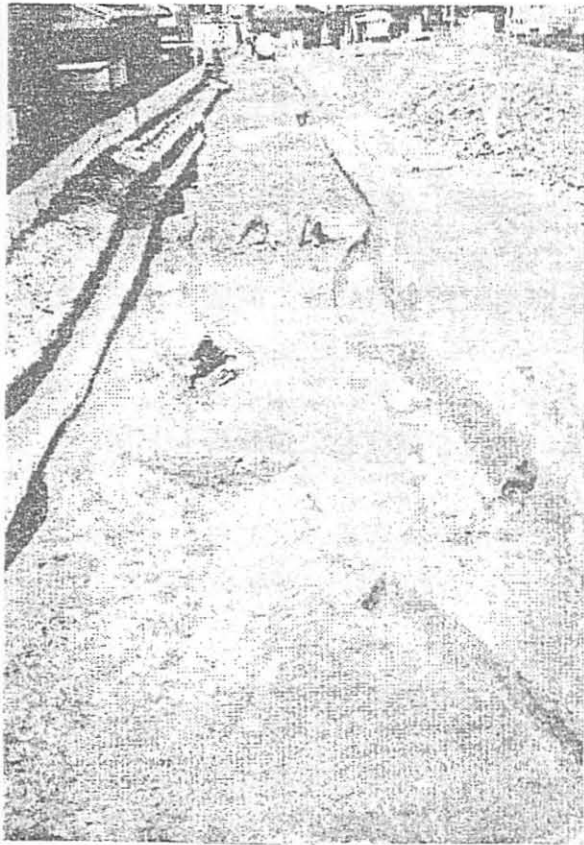
発掘調査だより



調査位置図

高関遺跡の調査

3月5日から、二町町字上北代において発掘調査を実施しました。ここは中山道に面したところで、試掘調査の結果、奈良時代前後の集落が存在することから、遺跡が破壊される道路部分について調査したものです。道路部分の幅約6m、延長約100mを発掘した結果、調査区の西側約30mから、縄文時代後期と考えられる遺物包含層と、それを切り込んだ平安時代前期の溝3条が検出されました。また、東側では縄文時代の包含層はなく、弥生時代後期から古墳時代前期の旧河道3条と、その埋没後に掘り込まれた平安時代後期の溝を検出しました。東端では、弥生時代後期の溝の中から、生駒西麓産の壺1個体が破片ながら形を残しているのを発見しました。



高関遺跡調査風景

これに隣接する山柿団地の調査で見つかった方形周溝墓とほぼ同時期のものですが、今回の調査区はそこから約150m離れており、墓を営んだ集団が違う可能性が考えられます。

旧河道は最大幅10m以上、深さは最大で地表面から1.6mほどもあります。遺物は少ないのですが、川底近くで縄文時代晩期の深鉢が出土しています。また河道の肩の際に井戸が掘られており、そこから弥生時代後期の甕が出土しています。河道は弥生時代後期には井戸が掘られた高さまで埋まって、流れの少ない湿地のような状態になっていたことが考えられます。

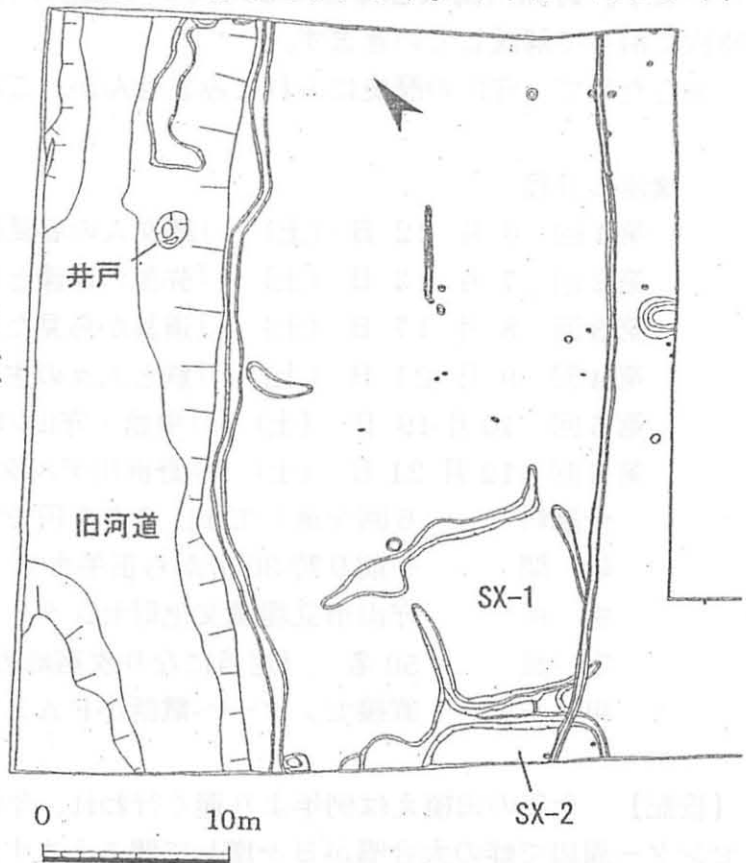
調査は今年度も引き続き行いますので、随時、調査成果を乙貞でお知らせしていきたいと思ひます。(大岡)

また、平安時代後期の溝から黒色土器の椀が数点出土しています。

今回の調査での大きな発見は、新たに縄文時代の集落跡が発見されたことで、遺物包含層を取り除くと、柱穴が多数発見され、同時に土器や石器、剥片などが出土しました。遺物では縄文時代の磨製石斧、打製石鏃、両刃石斧と思われる珍しい石器もありました。(山崎)

### 金森東遺跡の調査(第30次調査)

3月に金森町自治会館の近くで調査をしました。調査の結果、数条の溝やピットなどのほか、方形周溝墓2基(SX-1, SX-2)と、旧河道が検出されました。方形周溝墓(SX-1, SX-2)は一边が約8mで、周溝の一部を重複しています。SX-2は調査区の外に続くため詳細は不明ですが、南に続く周溝墓群の端である可能性も考えられます。時期は周溝から高坏、壺などが出土しており、これらの土器から弥生時代後期に築造されたと考えられます。昨年行ったT-1や、



調査平面図

## 友の会からのお知らせ

当センターでは、「友の会」会員の募集を行っています。この会は、埋蔵文化財を中心に歴史に興味ある方々が集まり、県内や県外の遺跡や博物館見学、講演会の聴講等を行っています。

活動を少し紹介しますと、去年は古墳、とりわけ前期古墳に焦点をしばり学習しました。見学は、県内の安土瓢箪山古墳、皇子山古墳、県外では福井県上中町の古墳群を見ました。また、毎年各地で開催されています日本列島発掘展が大阪歴史博物館で開催されましたので、この見学もしました。

このように見学を中心にした活動は、直に目で見て、また、触れることを通して、郷土の歴史への理解を深めています。会員の方には乙貞の送付や講演会の情報等をお届けしております。ぜひご入会ください。

会費は年間2,000円です。(但し、同世帯二人目は家族会員として扱いますので、1,000円となります。)入会申し込み、詳しいお問い合わせは、当センターまで。

## 歴史入門講座の開催案内

歴史や埋蔵文化財を知っていただくため、資料やスライドを使ってわかりやすく解説する歴史入門講座を開催します。第8回となります今年度は、「野洲川デルタの人々 一縄文・弥生から現代に、そして未来にー」をテーマに、研究者や調査担当者を講師に迎えて行います。野洲川流域を舞台にした人々の生活の特徴、個性をどのようにとらえるのか時代に沿って解説していきます。

あらためて、守山の歴史にふれてみませんか。ご参加お待ちしております。

### 講座の日程

- 第1回 6月22日(土) 「縄文人の春夏秋冬」
- 第2回 7月13日(土) 「弥生の環濠と中国の城塞」
- 第3回 8月17日(土) 「道具から見た古代の農村風景」
- 第4回 9月21日(土) 「鉄と人々の生活」
- 第5回 10月19日(土) 「中世・守山の村 探検」
- 第6回 12月21日(土) 「野洲川デルタの文化学」

受講料 6回を通して1,000円です。

時間 午前9時30分から正午まで

場所 守山市立埋蔵文化財センター 2階会議室

定員 50名 (定員になり次第締め切ります。)

申込方法 直接センターへ電話かFAXでお申し込みください。

【後記】 今年の田植えは例年より遅く行われ、今がピークの様です。それにあわせてセンター周辺で蛙の大合唱が日々増して聞こえますが、騒がしいと思いつつも、なんとなくホッとする気がします。